



JASDAQ

平成 24 年 3 月 29 日

各 位

シ ラ イ 電 子 工 業 株 式 会 社
代 表 取 締 役 社 長 小 島 甚 昭
(コード番号：6658)

— 電子デバイスで植物を活性化する環境ビジネス —
“大塚式電子植栽針灸術 “MoXA(モクサ)適塾” 説明会 開催のご案内

当社は、環境関連の取り組みの一環として、このたび下記のとおり関西地区にて大塚式電子植栽針灸術 “MoXA” (モクサ) 適塾（施術師養成講座・5月開講）の説明会を開催するはこびとなりましたのでお知らせします。参加ご希望の方は下記の問い合わせ先に電話、FAX、メールにてご連絡ください。

記

日時：2012 年 4 月 15 日（日） 13：30～15：00（開場 13：00）
場所：コープイン京都 2 階 大会議室 （入場無料）
京都市中京区柳馬場蛸薬師上ル井筒屋町 411 電話 075-256-6600

参加申込・問合せ先：担当 寺田・萩野
TEL 075-861-8100 FAX 075-861-8105
メール info@shiraidenshi.co.jp

「大塚式電子植栽針灸術 “MoXA(モクサ)”のご紹介

MoXA（モクサ）とは

「大塚式電子植栽針灸術 MoXA（モクサ）」とは、半導体デバイスを植物に刺し込むことにより、植物の生体を活性化させる技術です。ちょうど人体のツボに針を打つ針灸術に似ているので、電子植栽針灸術と呼んでいます。

大塚先生は、植物の成長過程で、植物生体に残存する絶縁体の遺物「カスバリー帯」が、成長を妨害していることを、20 年の実験データにより解明、オリジナルの電位計測器を用いて、植物のツボであるカスバリー帯を見つけ、半導体デバイスを装着することで、植物の成長を促進（または阻害）することに成功しました。この技術により、成長力がアップするので、収穫量も 30%以上アップします。トマトやメロンは糖度も増します。また、免

疫力が高まるので、松枯れ、ナラ枯れ、プラムポックス病などの病気の治癒・予防に貢献します。さらに、MoXAにより半導体デバイスを装着された植物は、CO₂の吸収量が多いことも実証されています。



梅の木に MoXA(大塚式電子植栽針灸術)を施す大塚先生



大塚先生が開発した手製の電位計測器で梅の木の電位を計測しているところ。
この数値で半導体デバイスを打ち込む位置を決める。

さまざまな植物に応用可能

東南アジアで行われた、ゴムの木、パーム椰子の実験では、寿命が格段に延び、生産量を向上させることがわかりました。

また、樹木に限らず、トマト、ピーマン、きゅうり、ナス、果実などは実を多く生らせ、また糖度が飛躍的に上がることもわかりました。1鉢で300個のピーマンや、1枝から10個のピーマンが現実になります。

また、赤松に施術することより、松茸も多く収穫できます。

最近、熊が里に下りてきて悪さをしていますが、これはナラ枯れにより、ドングリが不足しているからだと言われています。この技術はナラ枯れ予防の効果もあるのです。

このすばらしい技術を社会に広め、貧困国の農林業活性化のお手伝いをしていこうと考えています。



発光半導体デバイスを装着したところ。成長を促進または阻害することができるので出荷調整にも使える。



うどん粉病の苗木から施術によって完治したトマト（桃太郎）。

市販の桃太郎の糖度は、3～4%程度だが、写真のトマトは8.2%ある（過去に13.5%を記録したことも！）。半導体デバイス装着によって、ストレスフリーで育ったため、写真のとおり果肉が多く、ほとんど種がない。皮が柔らかく、みずみずしい、トマト本来の青臭さと濃厚な味、甘みも加わりとても美味しい。

スギ・ヒノキ花粉対策にバツグンの成績

最近のスギ・ヒノキ花粉の大量発生は異常です。なぜ、最近のスギ・ヒノキは大量に花粉をまき散らすのでしょうか？

花粉は、自分の子孫を遺そうとする行動です。最近の間伐をしなくなったため、狭い土地にギュウギュウ詰めで植えられており、日照、水分バランス、気温など、周囲の生育環境が悪化するにつれ、ストレスが生まれます。ストレスがたまる → 子孫を遺す行動 → 大量の花散 になると考えられます。

「大塚式電子植栽針灸術 MoXA」により、半導体デバイスを装着させることで、樹を再び成長期へと戻し「子孫を遺す行動 → 大量の花散」の行動を抑止することが可能になりました。

スギ花粉試験では、半導体デバイスを装着後3日で、10%のスギに抑止効果が現れ、1年後の調査では、なんと100%の効果を実証できました。



スギ花粉低減技術試験

MoXA（モクサ）：

英語の **moxibustion**（灸のこと）の略称で、灸をすえるべき灸点やツボ（要点、急所）の意。元来、日本語のもぐさが転じた英語で、**moxie** は(1)精力、活力、元気 (2)気骨、勇気を意味する俗英語。

大塚 具明（おおつか ともあき）：

1929 年鳥取県生まれ。日本トラップ研究所／日本環研株式会社代表。地球環境財団／地球社会問題研究所第 3 研究部部長。「ハエ取り紙」をはじめ、ネズミ取りなど生きもののいじめの反省から、約 20 年間に亘り、人類を含め、多様な生物群が健全に共生、共栄できる自然環境の研究開発に精励している。電子植栽針灸術はその成果の一環。